



限りある資源と美しい自然を大切に

SERIES VR-6500

リュプケ式反発弾性試験機

LUPKE REBOUND RESILIENCE TESTER

概 要

加硫ゴムに衝撃的に変形を与え、その変形から回復する際に最初に与えられた衝撃力（エネルギー）の何パーセントを外部に放出するかを測定し、試料の反発弾性係数を求めます。

本機は、JIS K 6255（反発弾性試験方法）に規定されている2つの反発弾性試験法のうち、従来から最も多く使用されているリュプケ式と呼ばれる装置で、4本の吊糸で水平に保たれた鉄棒を、落下高さ100mmの所から半径2000mmの円周に沿って自然落下させて円柱状の試料に衝撃を与え、鉄棒の反発高さを読み取り反発弾性を測定します。

VR-6512は、跳ね返ってくる打撃棒が瞬間的に静止する高さを目視で読み取っています。

このため、測定には相当な集中力を必要とし、ある程度の読取り誤差や個人差による誤差と熟練とを生じました。

しかし、VR-6522は、磁気式のラインセンサーにより、この瞬間的な静止位置を精度良く自動的に読取ると同時に、データ処理機により、JIS K 6255に規定された反発弾性率の計算や結果のまとめを自動的に行いますので、誰にでもばらつきの少ない高精度な試験が簡便に行えます。



MODEL VR-6512



QMS . EMS
ISO 9001
ISO 14001
JSAQ1320, JSAE1529



JAB
CM001

株式会社 上島製作所

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD

特 長

- 打撃の際の共振を防ぐ為に十分な堅牢性、重量を持っています。
- 鉄棒を正確に落下させる為に、マグネットにより初期高さを保持しています。
- 反発弾性係数は温度による影響を強く受けるため、試料周辺をヒーターで温度調節することができます。
(オプション)
- 本体に水準器が付属し、機器の水平を常に確認できます。
- 磁気センサーにより反発弾性値を 0.1%単位で自動的に測定するモデルでは、測定者によるデータのばらつきが解消され、測定者の疲労を大幅に軽減します。
- JIS K 6255 に規定されている測定方法や、結果のまとめ方の規定に従って、反発高さが一定になるまでの予備打撃の回数の設定と表示、3 回本打撃による反発弾性率の測定と中央値の算出、2 個の試験片による試験の平均値計算やプリントアウトを自動的にを行います。(VR-6522)

仕 様

MODEL	VR-6512	VR-6522
準拠規格	JIS K 6255-1996	
落下鉄棒	直径 12.50±0.05mm 長さ約 356mm 重量 0.35±0.01kg	
鉄棒懸垂高さ	2000mm	
鉄棒落下高さ	100mm	
試験片形状	厚さ 12.5±0.5mm 直径 29.0±0.5mm の円柱形	
試験片の支持	35±5N のバネによる機械的固定	
試料支持台温度	ヒーターにより 40℃～120℃の間で温度調整可能 (オプション)	
反発弾性値読取り	反発弾性値の直読目盛りを目視	<ul style="list-style-type: none"> ・磁気センサーによる自動読取り (反撥弾性 0-100%間で分解能最大 256) ・予備打撃 (反発高さが一定になるまで) の回数の設定と表示 ・3 回の本打撃の弾性率と中央値、2 個の試験片によるその平均値をプリントアウト。
所要電源	AC100V 1A 50/60Hz (オプション AC220V(ダウントランス付))	AC100V 10A 50/60Hz
外形寸法	幅1252×奥行400(上部支柱は920)×高さ2638mm	幅1385×奥行420(上部支柱は920)×高さ2645mm

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD.

株式会社 上島製作所

本社・工場 ● 〒186-0011 東京都国立市谷保 6-5-22
 TEL. 042-572-1397 FAX. 042-573-1520
 E-mail: sales@ueshima-seisakusho.com
 大阪営業所 ● 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 1-3-14
 (橋本ビル 402)
 TEL. 06-6942-1631 FAX06-6942-9702
 E-mail: osaka@ueshima-seisakusho.com

<http://www.ueshima-seisakusho.com>

■UESHIMA 製品に関するご意見、ご質問、見積等のご請求、お問い合わせ